



デジタルに関する疑問や悩み事を受け付けます デジタルよろず相談 開催中

5月に町役場に開設した「デジタルよろず相談室」が、まちなか再生拠点施設（旧野口燃料店）に場所を移して開催中です。開催日には、藤井靖史最高デジタル責任者や西名清蔵プロジェクト推進マネージャーが相談などに応じます。

8月は下記の日程で開催します。気軽にお越しください。

◆開催日

8月3日、10日、17日、24日、31日（毎週火曜日）

◆開催時間

午前10時～午後5時

〈問い合わせ先〉

企画情報課 デジタル戦略室 ☎45-4536



各社と連携し、官民共創のまちづくりへ デジタル戦略の推進に向けて連携協定を3件締結

夢に挑戦できる西会津の共創に向けたまちづくり連携協定

町では、セイコーエプソン株式会社（本社・長野県諏訪市）と「夢に挑戦できる西会津の共創に向けたまちづくり連携協定」を締結しました。

6月22日、町役場とセイコーエプソン広丘事業所（長野県塩尻市）を同社が持つ空間接続技術でつなぎリモートで協定締結式を行い、薄町長と吉田潤吉執行役員プリンティングソリューションズ事業本部長（写真右から4人目）が協定書に署名しました。

今後は本協定を基に、「夢に挑戦する人の支援」「交流人口・関係人口の創出」「子どもの教育及び健全育成、生涯学習の推進」「地域産業の振興」に連携して取り組み、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めます。



農林業分野の活性化を目指して 農業公社設立に向けた検討会

担い手の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増大、有害鳥獣被害など、町の農業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。こうした農林業分野の課題解決や雇用の創出などを図ることを目的に「農業公社※」の設立に向けた検討会がスタートしました。

6月30日に開催された第1回検討会には、町内の農業経営者や認定農業者など関係者が出席し、町の現状・課題や、他市町村での事例を基に意見交換が行われました。



※市町村や農協、農業者団体などが出資し、農林業関連の業務を行う組織。事業内容は、農作業の受託、農産物の加工・販売、森林の維持などを担う。

西会津町におけるデジタル戦略の推進に関する連携協定

町は、一般社団法人コード・フォー・ジャパン（東京都文京区）と「西会津町におけるデジタル戦略の推進に関する協定」を締結しました。協定締結式は6月24日に町役場で行われ、薄町長と関治之代表理事（写真左）が協定書に署名しました。

今後、町と（一社）コード・フォー・ジャパンは、町が今年度導入を計画するインターネット上で多様な意見を集め、議論を集約し、政策に結び付けることができる機能を持つ「町民参加型合意形成プラットフォーム」を構築し、町民と行政の協働・共創を推進していきます。



犯罪や非行のない安全・安心な明るい地域社会を築くために 社会を明るくする運動 内閣総理大臣メッセージ伝達

社会を明るくする運動とは、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くために法務省が推進している全国的な運動です。

6月24日、第71回社会を明るくする運動 内閣総理大臣メッセージ伝達が町で行われました。式では、西会津更生保護協議会の平野茂穂会長（写真左）より内閣総理大臣メッセージが、西会津更生保護女性会の五十嵐照子会長より福島県知事メッセージが薄町長へそれぞれ伝達されました。伝達を受けた薄町長は「町としても一人一人を大切にす町政を進めていく。引き続き安全・安心なまちづくりにご協力いただきたい」とあいさつしました。



西会津町民バスの輸送サービス向上に向けた連携協定

7月2日に、町、会津乗合自動車株式会社、株式会社みちのりホールディングスの3者による「西会津町民バスの輸送サービス向上に向けた連携協定」を締結しました。

同日、町役場にてリモートで行われた協定締結式では、薄町長と佐藤俊材会津乗合自動車代表取締役社長（写真左）と松本順みちのりホールディングス代表取締役グループCEO（写真右）が協定書に署名しました。

3者は今後、AI（人工知能）が策定したルート・ダイヤの生成やスマートフォンなどでの乗車予約、標柱を置かない仮想バス停留所での乗降を実現し、バス利用者の利便性向上と運行の効率化を目指すほか、首都圏などとの交通アクセスの向上、多様な輸送サービスの検討・実証などにも取り組んでいきます。





全国土地改良事業功績者表彰

町土地改良区・渡部理事長が受賞

令和2年度全国水土里ネット表彰が発表され、町土地改良区の渡部修理事長（写真右）が全国土地改良事業功績者表彰を受賞しました。7月5日、渡部理事長が町役場を訪れ、薄町長に受賞を報告しました。

渡部理事長は昭和61年に町土地改良区の幹事に就任し、平成6年11月からは理事、平成26年11月から現在まで理事長として約35年にわたり、町内の農地の基盤整備などに尽力してきました。渡部理事長は受賞までを振り返り、「西会津の農業発展の一端を担うことができました。関係者の皆さんに感謝申し上げたい」と話していました。



2種目で県大会を制覇！

西高ボート部 全国の舞台へ

5月29日～30日に行われた福島県高等学校体育大会に西会津高校ボート部が出演し、女子シングルスカルの栗城愛里さん（2年）が初優勝、男子舵手付クオドルプルが15年ぶり2回目の優勝を果たしました。

6月14日、薄町長はボート部の皆さんから結果報告を受け、男子舵手付クオドルプルに出演した小柴丞一朗さん（3年・写真左から2人目）に激励金を贈りました。また、同種目に出演した菊地風詠さん（3年・写真右端）からは「コロナ禍によるプレッシャーやコンディション調整が大変でしたが、みんなで優勝できて良かった」と話がありました。全国大会は、8月16日から福井県で開催される予定です。



国境を越えた交流、これからも

国立台湾文学館が町へ書籍を寄贈

7月6日、台湾の国立台湾文学館では、台湾文学史の発展に貢献した故西川満氏（会津若松市出身）の書籍「西川満日記集」を町と西会津国際芸術村に寄贈しました。

この日は、町役場と台湾をオンラインでつなぎ、リモートでの贈呈式が行われました。

町と台湾の交流は、西川氏の回顧展が平成30年に会津地方で開かれた時、台湾関係者が西会津国際芸術村を訪れたことがきっかけで続いています。

今回の寄贈を受け、町に寄贈された書籍は西会津中学校図書館に収蔵されたほか、西会津国際芸術村には西川氏の特設コーナーが設けられました。

